

平成29年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対受益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要	
						採択年 S 目標年	総事業費	進捗率							事業進捗内容
							工事費	進捗率							
							用地費	進捗率							
林道事業	2	鶴ガ坂線	度会町	②	【全体事業概要】 延長: 8,350m 幅員: 4.0m 利用区域面積: 389ha 【事業目的】 地域の林業基盤施設として、当津地区と中之郷地区の集落間を連絡する骨格的な林道を整備し、森林施業の促進を図ることにより、森林の持つ公益的機能の高度発揮に資するとともに、効率的な施業や生産・流通体制の整備を図ることを目的に開設する。	延長: 4,014m H20 S H39	589 589 -	37.7% 37.7% -	度会町では、平成32年度を目標年度とする第6次度会町総合計画を策定し、その後期基本計画の目標5(地域の活力を創り出すまち(産業))において、「森林を適切に管理し、その多面的な機能の維持に努めるとともに、基盤の整備を図ることで、町内の産業活動が活発に展開されること」をめざす姿勢としており、その実現に向け行政が果たすべき施策の1つとして本林道の整備をあげている。	【費用対受益分析結果】 B/C=17.7億円/15.0億円=1.18 【コスト削減】 地形に沿った波形線形の採用や、路肩の縮減、土工量の削減により、コスト削減を図る。 【代替案】 当路線の利用区域内の森林整備を図る必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はない。	コスト削減と環境配慮に努めながら、早期完成を目指し、事業を継続する。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。	【課題】 森林資源の有効活用や森林整備の促進による公益的機能の発揮など、林道整備による効果を早期に発現させるため、事業の早期完了を図る必要があります。 【解決方針】 今後詳細な測量設計を実施していく中で、経済的な線形や工法について積極的に検討するなど、コスト削減に努めることで、事業の早期完了を図ります。	継続	

注: 再評価理由

- ① 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ② 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③ 再評価実施後一定期間を経過している事業
- ④ 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業

平成29年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要	
						採択年 S	総事業費	進捗率							事業進捗内容
							工事費	進捗率							
							用地費	進捗率							
目標年															
海岸事業	3	的矢港海岸(海岸高潮対策事業)	志摩市	③	【全体事業概要】 [的矢地区] 護岸(補強):1,373m 陸闌(改良):7基 【目的】 当海岸の既設護岸は、老朽化による損傷が著しく、高潮や高波等により護岸が破堤し、背後の人家密集地域が浸水被害を受ける恐れがあります。また、南海トラフ地震・津波による浸水被害も懸念されています。当事業の目的は護岸の補強や陸闌の改良を行うことで、高潮・高波等の異常気象による背後地への越波・越流を未然に防止し、浸水被害から生命・財産を守ること、また、地震・津波による死者数を限りなくゼロに近づけることです。	S61	7,060	63.3%	【整備済み内容】 [的矢地区] 護岸(補強):1,113m 陸闌(改良):7基 【社会的状況の変化】 防護区域は、依然として人家が密集しており、防護の必要性に変化はありません。また、南海トラフ地震の発生が危惧され、津波による甚大な被害が想定されるなか、志摩市では、津波から避難する防災訓練を毎年実施するなど、防災意識は高まっています。	【費用対効果分析】 B/C=1.82 【コスト縮減】 複雑なりアス式海岸であるという地形条件に配慮し、詳細な土質調査を実施し、その調査結果を踏まえて、設計工区を細分化し、工区別に比較検討を行い、より経済的な断面を採用するなど、設計時において可能な限りコストの縮減に取り組んでいます。 【代替案】 漁業や航路利用への影響から前面海域を縮小することなく、地震時の液状化に対応した複数の工法を比較検討した結果、他に代替案は考えられないことから現計画で整備を進めることが妥当であると判断しています。	今後の整備区間は作業環境が厳しく、財政状況についても厳しい状況が予想されますが、引き続き事業の進捗を図り平成43年度の完成を目指します。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。なお、事業期間が長期にわたり、かつ事業費が増加していることから、地域住民の意向を踏まえて、事業期間の短縮を図りつつ工法の検討を含めたコスト縮減を図るよう努められたい。	継続	【課題】 的矢港海岸高潮対策事業については、昭和61年度から着手し、すでに30年経過していること、また、事業費についても前回評価時の50.6億円から70.6億円に増加しており、ご指摘のとおり長期かつ事業費が増加した事業となっております。しかしながら、地元からの要望も強いいため、平成43年度の完成目標を少しでも早くできるようコスト縮減に努め事業を推進する必要があります。	
						S	7,060	63.3%							
						H43	-	-							

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

平成29年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見概要	対応方針	事業方針概要	
						採択年	総事業費	進捗率							事業進捗内容
							工事費	進捗率							
目標年	用地費	進捗率													
下水道事業	4	北勢沿岸流域下水道(北部処理区)	四日市市、桑名市、いなべ市、東員町、菰野町、朝日町、川越町	③	【全体事業概要】 計画区域面積: 12,595.8ha (四日市市3,501.3ha、桑名市3,306.7ha、いなべ市2,289.9ha、東員町985.9ha、菰野町1,648.3ha、朝日町282.1ha、川越町581.6ha) 計画処理人口: 371,698人 (四日市市125,579人、桑名市122,700人、いなべ市37,430人、東員町23,665人、菰野町36,270人、朝日町10,443人、川越町15,611人) 流域幹線延長: 97.7km 計画汚水量: 211,922m ³ /日最大 中継ポンプ場: 1箇所 終末処理場: 1箇所	S51	437,815 (流域下水道: 156,748) (流域関連公共下水道: 281,067)	78% (流域: 91%) (流関: 71%)	【整備済み】 (流域下水道) 処理能力: 147,990m ³ /日 幹線管渠延長: 97.3km (流域関連公共下水道) 計画区域: 8,312.2ha 【残計画】 (流域下水道) 処理能力: 64,010m ³ /日 幹線管渠延長: 0.4km (流域関連公共下水道) 計画区域: 4,283.6ha	【全体計画】 近年の社会経済情勢や周辺環境の変化等にあわせ、平成29年度に全体計画の見直しを行っている。	【費用対効果分析】 B/C=1.9 【コスト削減】 計画の策定及び工事の実施にあたっては以下のようなコスト削減の取り組みを行ってきた。今後も「三重県公共事業コスト構造改善に関する第4次行動計画」に基づき、更なるコスト削減に努めたい。	関連市の下水道整備による処理場への流入水量の増加にあわせて段階的に処理施設の増設を行う。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。	継続	【課題】 三重県の下水道の整備状況は、全国と比べて低い水準であるため、様々な社会情勢の変化に対応しながら、適確に整備を進める必要があります。 また、施設を適切に維持するため、施設の長寿命化及び耐震化を行って行く必要があります。
					S	415,220 (流域下水道: 143,112) (流域関連公共下水道: 272,108)	77% (流域: 90%) (流関: 70%)		I 工事コストの改善 II 時間的コストの改善 III ライフサイクルコストの改善 iv 社会的コストの改善 V 長期的コストの改善			【解決方針】 関連公共下水道の進捗に合わせて、幹線管渠の延伸及び浄化センターの増設を推進します。 また、施設の老朽化や発生が危惧される地震に備えて、幹線管渠及び処理場の長寿命化及び耐震化を推進します。			
					H77	22,596 (流域下水道: 13,636) (流域関連公共下水道: 8,959)	94% (流域: 100%) (流関: 86%)		【代替案の検討】 下水道に代わる汚水処理の整備手法には、農業集落排水施設、漁業集落排水施設、コミュニティ・プラント、浄化槽がある。 経済比較を行った上で、地域の地形条件、市街地の形成状況、社会情勢等を考慮した結果、下水道による整備が最適である。						

注: 再評価理由

- ① 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ② 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③ 再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④ 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業